

霊障と思われる
アメリカン・ピットブル犬



QX-SCIO遠隔セラピー＋レメディ
で快癒したケース

佐藤文子（さとうあやこ）
日本ホメオパシーセンター札幌西11
JPHMA認定ホメオパス№0636
同認定アニマルホメオパス№A0088

クライアント



こいのすけ 鯉ノ介くん

アメリカン・ピット・ブルテリア犬
8歳・オス 血統書付

飼い主さん経営の会社敷地内で
番犬として飼われている。

飼い主さんのご自宅は別。

- 闘犬として作り出された種。
- 中型犬。
- 筋肉質で力が強く、身体能力が高い。
- 飼い主に対しては忠実で人懐っこい。

経緯

2024/5/28 夜19時過ぎ



「飼い犬の調子が悪く、病院に行ってもダメなので
ホメオパシーでみてもらえないか。
もしかしたら農薬にやられたかもしれない」

との連絡が入る。

症状と状況を伺うと緊急性が高いことが判明。

急ぎよ電話相談を行った。

症状

嘔吐・下痢を繰り返す。食欲がない。
元気がなく動かない。

5/23

朝、前日のフードを2回おう吐した形跡があり下痢していた。
その後、胃液をおう吐。食欲がまったくなくなり、水だけ飲む。
ぐったりして小屋から出ない。

5/25

容態が変わらず病院に行くが、病院嫌いなので吠えまくって拒否。
（過去にも暴れたことがあり医師も怖がっている）
様子見してくださいと帰される。

5/27

食欲なく体重減少。心配になって再度病院に相談。
ペースト状のフードに加水して与えるが、食べるとすぐ下痢。
ミルク状のフードと吐き止め薬を与えるが拒否。

5/28

水を飲んでも下痢するようになり、動かなくなった。
どんどん痩せていく。→電話くる



飼い主さんへの聞き取り



前日夕方まではまったく変わりなく元気だった。

原因は全く思い当たらない。

非常に警戒心が強い子で、

檻に食べ物を投げ入れても一切目もくれない。

飼い主が与えたフードしか食べない。

夜間に何らかの毒物を食べてしまった可能性は考えられない。

考えられるとしたら、

散歩の際に食べたイネ科の草に除草剤がかかっていたのか…？ということくらい。

QX-SCIO測定結果

- 毒性の影響らしきデータは上がってこなかった
- 霊障が出ていた

測定結果をお伝えしたところ、
飼い主さんご夫婦そろって霊的な影響を非常に受けやすく
「よく具合が悪くなって祓ってもらおう」とのこと。
番犬として飼われている犬であり、
忠誠心が非常に高い犬種であることから、
飼い主の身代わりの的に霊的アタックを受けている
可能性もありそうだと推察。



対応

お手元にレメディーがない、
近くにホメオパシーショップがない、
遠方県である、ということから
その場ですぐにレメディー投与ができない状態だった。

緊急の対応として

波動測定器QX-SCIOの遠隔セラピーを実施し
選択レメディーが入手でき次第（翌々日）
レメディーを与えることにする。



QX-SCIOセラピー

「霊的修正稼動」実施

→ 100%修正となるまで繰り返した

ほか、解毒セラピーなど

必要と思われるセラピーをひとつおとり実施。



レメディー選択と根拠

TBR:The Bonninghausen Repertoryと
ロビン・マーフィーのレパートリーを併用
表れている症状を拾ったほか、毒物摂取の可能性も考慮。
ポイントは「蘇生」「解毒」「消化器」

TBR

- 1 : 392# 嘔吐
- 2 : 421# 下痢
- 3 : 307# 食欲喪失
- 4 : 1156# 衰弱
- 5 : 777# 精神-動揺している



Nux-v.Chin. など

マーフィー

- 1 : 農薬、化学物質の毒性
- 2 : 嘔吐
- 3 : 下痢
- 4 : 食欲喪失
- 5 : 吐き気による衰弱
- 6 : 疲労・下痢による衰弱



Ars. Nux-v. など

選択レメディ

① サポートPet06 + Ars 30C

飲み水に入れて頻繁に与える

② Acon.1M + Bell.200C

緊張・興奮・恐怖を示した時に随時



結果

翌朝、元気になっていた。
翌々日に選択レメディー開始。
約10日間とり続けて改善した。



(飼い主さんからの連絡)

- 5/29 (翌日) 午前 昨日はありがとうございました。
おかげさまで今ご飯食べました。
- 5/30 レメディーが届き、すぐにあげました。
食欲も少しずつ回復方向で元気になって、ほぼ前と変わらない様子です。本当に本当にありがとうございました。
- 6/10 レメディー1ビンとり終わりました。
本当に元気になりました。

考察



動物相談は、クライアント自身に言葉で語ってもらうことができない。
加えてこの事例はレメディーが手元にない状態だったが、それらの悪条件を救ってくれたのが波動測定器QX-SCIOだった。

QX-SCIOが霊障の影響を示唆したことから、飼い主さんご夫婦の霊障体質を聞き取ることに繋がり、遠隔セラピーにて「霊障の解放」を行った。

動物のケースでは、動物が飼い主と同じ病気になったり、飼い主の身替りになるかのように病を得たりする例が少なくない。アメリカン・ピットブル犬は特に飼い主に忠実な犬種であり、本クライアントは番犬であることから、飼い主や家を守ろうとする使命感が非常に強いことが想像できる。我が身を挺して飼い主の身替りとなり、番犬の使命を全うしようとしたのではないだろうか。

発症の真の原因を突き止めることはできないが、霊障解放セラピーほかQX-SCIOの遠隔セラピーが奏功したことは事実であり、霊障であるとしたらQX-SCIOだからこそ対応できたといえるかもしれない。レメディーとQX-SCIOを合わせて使用するはかりしれないメリットを実感させてもらったケースでもあった。

飼い主さんの声



鯉ノ介がどんなご飯も口にしてくれなくてどんどん痩せていってしまい、もうどうすることもできず義姉に相談したところ、紹介の紹介で佐藤さんにたどり着くことができました。

その時点でもう一週間が経とうとしていたので、夜で急でしたが、藁にもすがる思いで即決でホメオパシー相談を受けました。

電話を切った後、QX-SCIOセラピーで霊障が100%修正できたとメールが来てホッとしました。

翌朝には、この1週間が嘘みたいに元気な鯉ノ介に戻っていました。感動して思わず泣いてしまいました。

翌日にレメディが届き、約10日間とらせ続けて今は本当に元気です。

本当に佐藤さんに出会えて良かったです♪ 感謝しかありません。

ホメオパシーは本当に凄い。出合えて良かったです。

Thank You!

佐藤文子（さとうあやこ）
日本ホメオパシーセンター札幌西11
JPHMA認定ホメオパス№0636
同認定アニマルホメオパス№A0088

